



ひゅーまんらいつ

第117号 平成22(2010)年



第35回人権尊重社会を実現する 鳥取県研究集会

今年度は、米子市
を中心に開催さ
れます

～人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう～

第35回を迎える本県の研究集会は、今日まで積み上げてきた差別の現実から深く学ぶ実践・交流の成果を踏まえ、更なる「充実と発展」をめざし、お互いの人権が尊重される社会の実現をめざして開催します。

私たちの生活の中にある具体的な問題や県内各地域における実践を持ち寄って交流しましょう。自らの問題として話し合いを深め、お互いの成果に学び合う研究集会にしていきたいと思います。たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

★ 期日 **8月5日(木)～6日(金)**

★ 会場 全体会場 米子コンベンションセンタービッグシップ
分科会場 米子コンベンションセンタービッグシップ 小ホール他8会場

★ 日程

	9:00	10:00	12:00	13:00	16:00
5日(木)	受付	全体会(基調提案・特別報告)	昼食	講演 公演	閉会
6日(金)	受付	分科会	昼食	分科会	

9:45

12:15

★ 特別報告 「ポルフィリン症と診断されて」
全国ポルフィリン代謝障害友の会「さくら友の会」理事
日本福祉大学社会福祉学部4年 池谷 鉄兵さん

池谷さんは、昨年度の「誰でも人権アカデミー」にお招きしました。ポルフィリン症の難病指定を求める署名活動を通じて、まわりの人たちの温かさ、より添うことの大切さを感じたと語られました。このように自然(太陽)を相手に日々生活しなくてはならない身体であっても、「自分は幸せだ」と話しておられました。またこの病気以外で苦しんでおられる患者さんたちの光となるよう、「どうしたら安心して暮らせる社会になるか」を考えて欲しいと問題をなげかけられました。



★ **講演** 「学びと人権・共生の学校づくりを～人権教育のめざすもの～」
前全国同和教育研究協議会委員長
(社) 全国人権教育研究協議会監事 高松 秀憲さん

★ **公演** 「堀内佳コンサート～今、しあわせに生きる為に～」
シンガーソングライター 堀内 佳さん



1961年高知県四万十市に生まれる。1歳の時、先天性網膜膠腫(目の癌)により両眼球摘出、全盲となる。中学生の頃より独学でギターを弾き始め、1987年「全国わたぼうし音楽祭」において楽曲「やじろべえ」で文部大臣奨励賞を受賞。その後高知放送のラジオパーソナリティとして活躍。現在、愛や夢、希望に溢れるオリジナル曲を中心に、「命の大切さ」「前向きに生きることの素晴らしさ」などをテーマに全国でコンサート活動を続けておられます。

涙流せること 怒りに震えること
それさえも 幸せと感じてほしいから
僕は歌い続ける 君のために
君に 生きていてほしいから

この世に生まれた命 掛け替えのない宝物
守れることの喜びが 大きな力に変わる
君の痛みも苦しみも 代わってあげられないけど
人の心の温かさを 君にも知ってほしくて

楽曲「生きててほしいから」より引用

夏休み子ども人権講座のお知らせ

夏休み中に、米子市内の小学生(5・6年)を対象とした『夏休み子ども人権講座』を開催します。「親子で参加したい!」という希望がありましたら、一緒に参加していただけます。どうぞお気軽にご参加ください。(申込必要)

第1回 「知っておきたい 介護の知識」

7月28日(水)
9:30～11:30
場所:ふれあいの里

高齢者の介護について、過ごしやすい施設を見学したり、車イスなどの介護体験をしたりすることを通して、お互いに尊重しあうことの大切さを学びます。

各講座とも定員は約20名です。
各学校の担任の先生を通じてお申込ください。(7月15日まで)

第2回 「平和について考えよう」

8月2日(月)9:30～11:30
場所:米子市役所第2庁舎
ゲスト:伊藤 清さん

山陰本線大山口駅での空襲について、当時の様子を知る伊藤さんのお話を聞き、鳥取県での戦争被害の実態を学び、平和の大切さについて話しあいます。貴重な写真や遺品なども見せていただけます。

【お問合せ先】米子市人権政策課 電話:0859-23-5252 Fax:0859-37-3184

